

第1章 市民健康の森とは

市民健康の森事業は平成5年5月に策定された「川崎新時代2010プラン」の中期計画に位置づけられ、平成9年3月「川崎健康都市宣言」を記念して「市民健康の森構想」が発表されスタートした。

1. 事業の目的

身近に実感できる緑の保全・回復と創出によって緑の中で市民が語り、憩う「ひろば」としての森をつくることで、都市環境の改善に寄与し、市民と行政のパートナーシップを構築し、また区役所の機能を強化することである。

2. 事業実践に当たっての前提条件

- (1) 地域特性を生かしたものとする。
- (2) 用地の新規購入は行わない。
- (3) 各区に1ヶ所だけ整備する。
- (4) 既往の計画と重複しないものとする。
- (5) 市民推進組織を立ち上げる。
- (6) 既存の区づくり白書との整合を図る。

3. 市民健康の森の基本理念

- (1) 緑の保全・回復と創出によって市民の憩いの場となる森づくり。
- (2) 森づくりは市民と行政のパートナーシップで進める。
- (3) 新しい地域コミュニティの構築、再生を目指す。

4. 市民健康の森設立までの経緯

平成10年から各行政区で事業を開始した。初年度は3区（中原区、宮前区、麻生区）、平成11年度には4区（川崎区、幸区、高津区、多摩区）の市民健康の森構想検討委員会を立ち上げた。

構想検討委員会は各区役所が選定した団体の推薦を受けた委員、公園や建設などの行政委員、公募により募集した委員で構成され、委員数は各区によって異なるが10名から40名で組織された。いずれの区の検討委員会も候補地の選定に苦慮し時間を費した（麻生区だけは行政が初めから場所を指定しモデル事業としてスタートした）。

候補地が決定した後は、森づくりの基本コンセプト等の検討が行われ、さらに市民主体による発表会を開催し、各区長に基本構想を提案した。次に実際に森づくりを推進する推進委員会を立ち上げ、推進計画を策定し各区長に提言した。

さらに、森を育てる準備会を結成し、市民健康の森設立に向けて森づくりを開始した。

5. 各区市民健康の森設立後の活動

設立時期は各区それぞれ異なるが、各区とも森づくりの基本コンセプト、地域特性、管理面積等の違いがあり、独自の森づくり、管理、各種イベントの開催を行っている。本来の目的である都市環境の改善、地域コミュニティの構築と再生に寄与してきた。



2004 健康の森フォーラム in 麻生

各区の活動の情報交換、勉強会を兼ねて平成14年1月より、2ヶ月に1度の7区の交流会がスタートし現在まで続いている。また、平成13年9月2日「川崎市市民健康の森フォーラム」が開催され、展示と説明、パネルディスカッションが行われた。各区においては、これから推進計画を立てているところもあったが、それぞれのブースに展示された写真や模型など各区の意気込みを大いに感じ取ることができて、大変有意義なフォーラムであった。

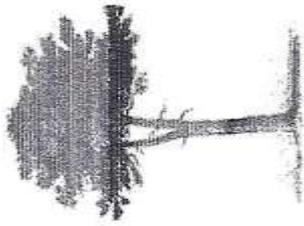
平成14年からは幹事区が持ち回りでこのフォーラムが開催された。平成16年2月には「2004 健康の森フォーラム in 麻生」が麻生区の幹事で麻生市民館において開催された。その時のテーマは「森の恵みを語ろう」であった。

平成20年からは、(財)川崎市公園緑地協会主催の「花と緑の交流会」に合流し現在に至っている。

6. 各区市民健康の森の設立（設立時期順、会員数は平成23年10月31日現在）

区（内は別称）	設立年月日	管理面積（ha）	会員数（人）
1、中原区市民健康の森 （中原区市民健康の森を育てる会）	平成13年5月20日	1.0	77
2、宮前区市民健康の森 （水沢森人の会）	平成13年6月24日	5.0	91
3、麻生区市民健康の森 （麻生多摩美の森の会）	平成14年4月21日	1.5	52
4、多摩区市民健康の森 （日向山うるわし会）	平成14年7月13日	4.5	50
5、高津区市民健康の森 （高津区市民健康の森を育てる会）	平成14年11月21日	7.3	100
6、川崎区市民健康の森 （海風の森をMAZUつくる会）	平成15年2月16日	6.6	19
7、幸区市民健康の森 （さいわい加瀬山の会）	平成15年4月1日	2.2	57

7 区の市民健康の森の概要



高津区

①高津区市民健康の森 面積 7.3ha
 ②「ゆっくり、みんなかで、たのしみながら…」
 森林遊歩道、児童遊園地、運動遊歩道、遊歩道
 ティーハウス、ピオトーブ
 ③各団体の健康活動を経て、11月21日、高津区
 市民健康の森を育てる会を設立。竹の伐採や竹炭
 づくり等の活動を行っている。
 ④瀬川駅南口よりバス乗換徒歩約10分
 ⑤高津区平野1149-1、野川410ほか

多摩区

①日持山の森 面積 4.5ha
 ②「次代に基ぞう多摩の里山」
 里山林の再生・復活・管理
 各3箇月の健康活動を経て、7月13日、日向山
 つなぐつなぐ森を設立。月1回、竹の伐採や竹炭製
 造等の活動を行っている。
 ③生田駅下車徒歩約15分。又は、向丘遊園駅より
 バス約5分生田駅前下車2分
 ④多摩区井田4丁目地内

麻生区

①麻生多摩東の森 面積 1.2ha
 ②「臨時的に成長する森」
 里山林づくり、遊歩道、池、花畑
 ③1年間の健康活動を経て、4月21日、
 麻生多摩東の森の会を設立。月1~2回、
 の竹の伐採や竹炭、野鳥観察等の活動
 を行っている。
 ④西武ランド前下車徒歩約10分
 ⑤麻生区多摩東2丁目2-2-40ほか

川崎区

①浮島公園（通称「地蔵の森」） 面積 2.3ha
 ②「地蔵の森へようこそ」
 汐入の森、ピオトーブ、流水池、風力発電
 森・自然観察ゾーン
 ③推進計画が区長に採択され、現在、組織を立ち上げ
 るための準備活動（花畑づくり等）を行っている。
 ④川崎駅東口よりバス約20分浮島公園入り口下車0分
 ⑤川崎区浮島町12-7

高前区

①水沢の森 面積 2.1ha
 ②「みんなの里山水沢の森」
 緑文の記憶を継ぎ森づくり、里山林の復活・再生、
 竹林の保護、里山の育成、ピオトーブの整備
 ③昨年、水沢地区の会を設立。月1回のペースで竹
 の伐採や池づくり、自然観察会などの活動を行っ
 ている。
 ④西前平駅よりバス清水台下車徒歩約10分
 ⑤高前区水沢2丁目2番ほか

幸区

①幸区公園（通称「加藤山」） 面積 6.3ha
 ②「幸区の歴史と緑と動物にふれあえる市民健康の森」
 周辺を沿って「ゆっくり、みんなかで、たのしみながら…」
 白山古墳を模った草地広場、児童遊園地、回遊遊歩
 道遊歩道が区長に採択され、現在、組織を立ち上げるた
 めの準備活動（竹の伐採や花畑づくり等）を行っている。
 ③2月18日（日）活動組織設立予定。
 ④川崎駅西口よりバス幸区公園入り口下車徒歩約5分
 ⑤幸区南加藤1丁目2-1

中原区

①井田山 面積 1.0ha
 ②「水辺と緑のはぐくむ街にするための初めの一歩」
 メダカのカハ、ギンヤンマの池、どんぐり広場、
 コナラの森、チヂミの森
 ③昨年、中原区市民健康の森を育てる会を設立。月
 1回程度、下草刈りや野鳥観察会など活動中
 ④生元庄当駅より徒歩約18分。又は、井田山駅より
 バス徒歩約5分入り口下車0分
 ⑤中原区井田2丁目1354ほか

区名

①整備位置と面積
 ②構想・推進計画の内容
 ③現在の状況
 ④交通アクセス
 ⑤所在地

